



学校だより

清流

立山町立立山中央小学校

令和5年10月

大きく育て心とからだ ～ 経験を生かして ～

教頭 清水 貞之



先日行った運動会では多数の参観ありがとうございました。皆様方の声援が子供たちのエネルギーになり、どの子供も自分の力を出し切ることができたようです。終了後の子供の表情から満足した様子がうかがえました。また、愛育会役員の皆様のご助力があり、スムーズに運営できたことに對し、改めてお礼申し上げます。ご参観に際し、不都合な点が多々あったと思いますが、来年の開催に向け改善して参ります。

さて、閉会式で代表の児童が「みなさんも今日まで全力で取り組んできたこの経験をこれからの学校生活に生かし、楽しく笑顔あふれる立山中央小学校をつくっていきましょう」と話しました。では、「経験を生かす」とはどういったことでしょうか。

人は、誰もが生活の中で成功や失敗を経験していくものです。そして、経験したことから学び、今後に生かしていくことができます。人が成長するためには、「自分の経験からの学び」「他者の経験やアドバイスからの学び」「学習や書籍からの学び」といったものがありますが、「自分の経験から」が7割と言われています。自分で行動し、自分で考えて、自分でその結果を受け入れることで、たくさんの気づきや考えが生まれます。そして、一つの経験を、あらゆる場面で適応できる可能性があります。それをどう生かすかは、自分次第になります。「苦手なことも、自信が無いことも、成長する可能性がある」と信じて、「やる気スイッチを入れて全力で取り組む」ことで新しい扉を開くことができるかもしれません。学んだことを「実践すること」が大切です。



6年生にとっては、小学校最後の運動会でした。夏休み前から役割を決め準備を進めてきました。その中で、うまくいったこと、うまくいかなかったことがあったかもしれません。その一つ一つが経験です。その経験を生かすことで、運動会では最高学年としての責任を果たすことができました。これもまた一つの経験です。学校では、学年に応じて様々な学習活動を行い、子供たちの経験を増やしています。その「経験を生かして」子供たちが成長していけるよう教職員一同努めてまいります。